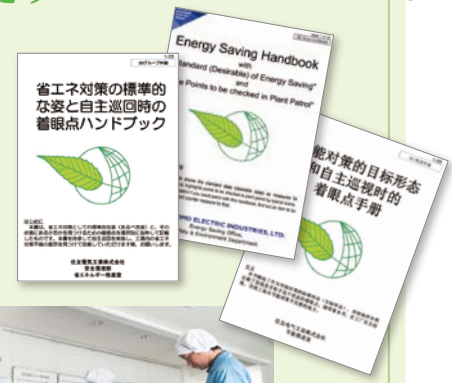
節電 REPORT

現場の自主的な省エネ活動を促す「省エネ研修」を開始

住友電工グループは、これまで省エネルギー推進室による省エネ診断を国内外の工場において積極的に実施し、成果をあげてきました。しかし省エネ診断後は、何もアクションが起きない工場もあり、課題となっていました。そこで工場における自主的な省エネ活動を促すため、省エネルギー推進室では2016年度より省エネ診断のポイントを図面や写真で分かりやすくA5サイズにまとめた「省エネ対策の標準的な姿と自主巡回時の着眼点ハンドブック」(以下、省エネハンドブック)と、付録の「省エネ効果の計算式例」を作成して自分たちで簡単に効果金額が実感できるような冊子も活用した、省エネ研修を開始しました。また、2017年5月には、冊子を英語、中国語、ベトナム語、マレーシア語、タイ語、インドネシア語に翻訳し、海外工場にも展開しています。

省エネ研修は各工場10人程度が参加し、半日かけて行います。座学1時間、その後省エネハンドブックを手に現場に出て、省エネ改善ができるポイントを約2時間かけてシートに書き出してもらいます。そのシートをもとに約1時間、質疑応答や講師による講評などを行います。

座学研修



省エネ対策の標準的な姿と自主巡回時の着眼点ハンドブック(日本語・英語・中国語)

現場研修

この研修で最も大切なことは、受講者に省エネ改善ポイントを抽出する喜びを感じてもらうことにあります。なかには講師陣が気づかないような省エネ改善ポイントが見つかる場合もあり、工程プロセスを熟知した人が省エネ診断する効果を講師陣も実感しています。

すでに国内で60拠点の研修を終了し、海外でも中国を中心に12拠点の研修を終了しています。現在、工場内で見つけた省エネ改善ポイントについて、具体的な改善手法の問合せや現場からのサポート依頼が省エネルギー推進室に届いています。これからの成果の積み上げが楽しみです。

(左から)
安全環境部 省エネルギー推進室 主席 **衣笠 兼次**
安全環境部 主席 **橋本 幸典**
安全環境部 省エネルギー推進室 主席 **平野 信行**
安全環境部 省エネルギー推進室長 **三島 隆之**
住友電工テクニカルソリューションズ(株)
プラントエンジニアリング事業部 省エネ技術部 部長 **遠藤 徳行**
安全環境部 省エネルギー推進室 主席 **赤壁 直幸**
住友電工テクニカルソリューションズ(株)
プラントエンジニアリング事業部 省エネ技術部 **岸本 隆一**
安全環境部 主査 **宮脇 美根子**

CSR VOICE

「省エネ研修」を受けて

住友電装(株) 安全環境部 環境推進グループ **上田 寿** (左)
電子事業本部 製造統括部 製造部 津エレクトロニクス工場 主任 **前川 文男** (右)

今回、電子事業本部のエレクトロニクス工場において省エネ研修を受けました。その結果、当工場ではユーティリティのルールが徹底されていないこと、設備の見える化が不足していることが判明。早急な対策が必要だと感じました。これまでは省エネ診断で改善ポイントを指摘され、それを改善して終わり、という動きでしたが、省エネハンドブックの活用により自分たちで気づいて改善するという自走力が生まれました。省エネ活動というのは自分一人でやることでも、人に指摘されてやることでもありません。この研修で学んだ自らが気づいて改善していく、皆で進めていく、という意識を今後広く共有し、さらなる改善につなげていきたいと思っています。

※ 所属・役職は取材時点のものです。